

下水道と浄化槽のベストミックスが成立するかを検証、議論

大会・パネル「克服」を開催 ディスカッション

主催 全国環境整備事業協同組合連合会 共催 公益社団法人岐阜県浄化槽連合会



議員、行政、一般参加、業界関係者1,031名が参加

主催 全国環境整備事業協同組合連合会、共催 公益社団法人岐阜県浄化槽連合会の大会「克服」が岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開かれた。議員175名、行政326名、一般市民212名、業界関係者318名の合わせて1,031名が参加、主催者の主張に続

いて、第1部講演、第2部保守点検、清掃、法定検査三業種の連携事例報告、第3部パネルディスカッションによって、効率的な生活排水処理へ下水道と浄化槽のベストミックスが成立するかを検証、議論した。

広報
ぎかんきょう

発行

岐阜県環境整備事業協同組合

岐阜市六条大溝 4-13-6

☎ 058-274-0567

FAX 058-275-2712



主催者の主張

「克服」

全国環境整備事業協同組合連合会
会長 玉川 福和

民主党は多くの国民から期待を集め、多くの失望を与えた。理由はいくつかある。それでも国民は政治に現在の生活と将来の子供たちの為に、立法府としての役割を果たしてもら

わなければならない。

昨年は東日本大震災において福島原発事故が発生した。

事故は必ず起きるものではあるが、民主党政権であるが故にあってはならないことは、国民の権利である情報公開という基本的なことが実行できなかったことである。国民が何を信じていいのか避難誘導に至っては、批判の言葉も見当たらない。

親が子供を守ることさえできず、見えない放射能の不安と恐怖に怯える毎日を送った現実、民主党の国民に対する消すことのできない裏切りと言える。

平成7年に阪神淡路大震災、平成16年には新潟中越地震、16年間で3回の大地震を被った。

いずれの地震においても下水道の被害は甚大であった。

仙台市民が利用する南蒲生浄化センターにおいては復旧の目途も未だ立たず、簡易な方法での処理のみである。

全国環整連は、阪神の震災後から、避難場所には浄化槽の常設を提言してきたが、いずれの地震にもこの教訓が生かされず、この国のどこの誰にもものを言えば聞き入れられるのか虚しさを感じる。

人が人を批判することは簡単なことである。

私達は、避難場所には浄化槽の常設が誰にも理解が得られるものと単純に考えていたが、我が身を振り返り国交省の「浄化槽の維持管理は出鱈目である」との批判に対し、長い間耳を貸すこともなく改めて来なかったことは、返す返す申し訳なく腹わたを掴みたい思いである。

全国環整連が今推進していることは、日本に設置されている600万基から700万基といわれる分散設置している浄化槽を、それぞれ異なる会社、異なる人達が一貫したルールのもと、保守点検・清掃・法定検査の三業種が連携したシステムで良好な水質を求め、自治体と共にパソコン画面で一元的に管理が出来るよう水質管理体制作りが実現しつつある。

平成24年7月26日、参議院小見山幸治議員が環境委員会で、地方財政を圧迫している下水道事業に対し、浄化槽に内在する問題点を鋭く追求した。

今後、下水道と浄化槽のベストミックスが成立するかを大会「克服」にて検証、議論する。

新しい浄化槽維持管理システムの確立による

下水道と並ぶ、より良好な処理水質の確保をアピール

大会「克服」は、従来の下水道至上主義から、時代に沿った生活排水処理システムの確立のために、下水道と浄化槽のベストミックスが成立するかを検証し、議論するために行われた。

タイトル「克服」は、下水道赤字による国・地方の財政破綻をいかに喰い止めるか、また、下水道と並ぶ生活排水処理施設として今後ますます重要になってくる浄化槽に内在する問題をいかに克服し、今後の汚水処理における役割を果たすかの観点から付された。

大会は、冒頭玉川会長が主催あいさつ

大会「克服」は、従来の下水道至上主義から、時代に沿った生活排水処理システムの確立のために、下水道と浄化槽のベストミックスが成立するかを検証し、議論するために行われた。

浄化槽維持管理は、3業種がそれぞれ業務をばらばらに行っていた過去の実態から、岐阜県では、およそ3年前、記録票を新清掃記録票、新保守点検記録票に改めて3業種の連携による維持管理システムを構築し、3業種がオンラインで業務内容等を申し送って、行政もパソコン上でこれを閲覧し、把握管理するシステムを全業者、全県域で完成させた。

3業種事例報告では、新記録票の説明に続いてそれぞれ事例報告が行われた。

大会「克服」

- 第1部「主催者の主張」、第2部「講演」、第3部「3業種連携事例報告」、第4部「パネルディスカッション」によって開催

浄化槽の役割について「国会質問の真意」と題して講演した。

小見山氏は「浄化槽管理の適正化に関する

体制から脱却することは、財政から立て直すことではない。地方分権を中心に

「抱くようになりまし。この法律を通過すわけです。しかし、この法律は18年間継続して赤字国債を出し続けております。したがって1、000兆円を超え、やがて1、500兆円の壁を超えるときに財政破綻という状況を迎えるのかなという感じもいたします。

抱くようになりまし。この法律を通過すわけです。しかし、この法律は18年間継続して赤字国債を出し続けております。したがって1、000兆円を超え、やがて1、500兆円の壁を超えるときに財政破綻という状況を迎えるのかなという感じもいたします。

1年は早いもので、もう大会の時期が来しました。恒例の大会であります。皆さんの期待が大きく、今年大会は「克服」といたした。長い時間でありましたから、制度的な疲労等、そして議会にも多くの問題を抱え、

抱くようになりまし。この法律を通過すわけです。しかし、この法律は18年間継続して赤字国債を出し続けております。したがって1、000兆円を超え、やがて1、500兆円の壁を超えるときに財政破綻という状況を迎えるのかなという感じもいたします。

抱くようになりまし。この法律を通過すわけです。しかし、この法律は18年間継続して赤字国債を出し続けております。したがって1、000兆円を超え、やがて1、500兆円の壁を超えるときに財政破綻という状況を迎えるのかなという感じもいたします。

私たちの少しの努力で膨らむ

下水道・国の借金を軽減

全国環境整備事業協同組合連合会会長
公益社団法人岐阜県浄化槽連合会

会長 玉川 福和

主催者あいさつ

日本には、克服すべきことが随分山積みになっております。外交面では、尖閣諸島、北方領土問題がある。日本は昭和20年に敗戦を迎え、そして自民政権下で一生懸命やっていた。政権交代を多くの国民が願ったわけですが、政権交代が起きた。なぜ自民政権から政権が移ったかという点、やはり外交という点、内政面で、財政的



政権交代を多くの国民が願ったわけですが、政権交代が起きた。なぜ自民政権から政権が移ったかという点、やはり外交という点、内政面で、財政的

抱くようになりまし。この法律を通過すわけです。しかし、この法律は18年間継続して赤字国債を出し続けております。したがって1、000兆円を超え、やがて1、500兆円の壁を超えるときに財政破綻という状況を迎えるのかなという感じもいたします。

抱くようになりまし。この法律を通過すわけです。しかし、この法律は18年間継続して赤字国債を出し続けております。したがって1、000兆円を超え、やがて1、500兆円の壁を超えるときに財政破綻という状況を迎えるのかなという感じもいたします。

(次ページへ続く)

(前ページより)
い。予算を組むときに、赤字を見込んでいくんであるかという、あり得ないわけです。必ず利益を出して、そして、それは次の

浄化槽の役割の思いを皆さんと共有

皆さんも御存知のように、我が国が近代国家に成長する中で、下水道の普及が豊かな生活のバロメーターであるという時代がずっと続いてきました。自分たちが住んでいる生活の中で下水道が敷かれる、自分たちの地域も豊かになつたと、そういう時代がずっとと来たわけであり、正しく、今もその傾向は多分変わっていないではないかと思いが、そういう中で、国も地方財政も、税金をどんどん投入してまいりました。このことについては、先ほども玉川会長がお話をされました。この大会で、皆さん

投資に回すということ、一般企業は進んでいくんでありますが、国と地方の財政については赤字が当たり前だということであり、特に下水道を見ますと、

はどれだけの税金を投入しているか、どれだけ地方財政を圧迫しているか、そのことについては十分御認識をいただいているんではないかと思いが、

にもかわらず、いまだに下水道をどんどん延ばしていく、どうしてそういうことを今も続けているのか、もしこれが自分の懐から、もうこの辺で止めたらいんじゃないか、私はそう思うわけであり、私も、残念ながら、みんなそういうのが今の現状であります。そういう中において、浄化槽の役割が今後ますます重要になってくるということも、十分御理解いただけたらと思います。そこで改めて、今後の汚水処理の普及における浄化槽の役割の思いを皆さんと改めて共有したいと思います。

処理性能は、今や下水道と遜色のない水準にあるということ。これは水質検査をすればわかるわけであり、すけれども、今の浄化槽は下水道と本質に変わらないぐらい性能の高い状況をつくることのできるようになり、

2つ目は、人口の散在地域で、下水道と比べ設置費用がとて安いということであり、
そして3つ目は、短時間で設置できるため、投資効果がすぐにあらわれるということ。
そして4つ目は、地形の影響を受けにくいので、設置場所を選ばないということであり、

震災で浄化槽の強さを証明

浄化槽の特徴を幾つか確認できると思いますが、7つほどあると思います。まず1つ目は、浄化槽の

下水道は絶えず年間1兆円ほどの赤字補填を一般会計から行ってきた。一般会計をずつと見ますと、おおむねであります。一般会計の50%以上が借金と

日本大震災でも起きたことであり、すけれども、地震による被害が少なく、個別に整備可能であるため、被害を受けても復旧が早いということであり、
これについては、東日本大震災の被害状況を見れば明確であります。

環境省が東日本大震災の被害について、東北3県で調査をした結果は、全損した浄化槽はわずか3.8%でございました。震災後も大きな問題なく使用できた浄化槽は72%を占めています。浄化槽がいかに地震に強いかが実証

されておられます。完全に復旧するまでに、環境省の調べにより、3年はかかるのであります。何と、その費用は600億円かかると言われています。正直言つと、今どういう状況になっておられるか、

一旦そういうふうな壊れてしまつと、とても大変な状況になるというのが下水道の姿であるということもぜひ皆さんには御認識をいただきたいと思いが、
このため、今後の効率的な汚水処理施設の整備には、浄化槽の役割が一層重要となつてくるわけであり、
ですから、従来の下水道至上主義から、下水道と浄化槽のベストミックスが地域の皆さんに優しい生活排水処理システムと考えていますので、国会において下水道優先の政策を見直すために、現在、下水道法第9条

6つ目は、下水道に比べると計画変更が容易であり、将来の人口変動に対応しやすいということ。
そして最後に、これは昨年の3月11日の東

も、この岐阜県下の自治体の人たちはこういう大会で連携を積み重ねてきて、十分熟知していただいているところであり、
今、自治体の財政は好転

浄化槽は、下水道法が改正されればその所期の目的が達成されるんだらうかということについても皆さんとぜひ考えていきたいと思いが、
浄化槽は下水道にかわる恒久的な処理施設としての浄化槽の信頼性を確保

御案内のように、岐阜県は、今日お集まりの浄化槽関係者を含めて皆さんの御意見を伺い、
御案内のように、岐阜県は、今日お集まりの浄化槽関係者を含めて皆さんの御意見を伺い、

国会質問の真意

民主党参議院議員

小見山 幸治

制限時間内で見通し、とか意気込みをお聞かせ願つて、この大会を進めるに当たつての基礎としたいと、考えております。
私たちは、下水道の借金を、毎月やっても駄目だということではございません。もう1つの質問にもかかわつてくる話にもなりますが、保守点検の時間ですが、環境省の試算によれば、通常、浄化槽で35分から40分かかるとされております。その保守点検を岐阜県以外のところでは5分とか10分で済ませている業者がいらつしやいます。料金ですが、岐阜県は年3回です。1回を5、000円として、3回で1万5、000円、ある県では1回の金額が5分から10分の点検で2、000円ですが、毎月来ますから、12回で2万4、000円取られます。岐阜県と比べると、年9、000円余計に払つているという状態であり、その地域の方は、そのことをよく知りません。その地域ではそれが当たり前だと思つておられます。

浄化槽は、下水道法が改正されればその所期の目的が達成されるんだらうかということについても皆さんとぜひ考えていきたいと思いが、
浄化槽は下水道にかわる恒久的な処理施設としての浄化槽の信頼性を確保

御案内のように、岐阜県は、今日お集まりの浄化槽関係者を含めて皆さんの御意見を伺い、
御案内のように、岐阜県は、今日お集まりの浄化槽関係者を含めて皆さんの御意見を伺い、

しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

下水道至上主義から、下水道と浄化槽のベストミックスへ
一方、下水道はどうであったか。皆さんもご存じかと思いが、
浄化センターが被害を受けました。下水管は地下を通つていまして、地震に対してそれほど影響はなかつたわけであり、すけれども、最後の処理場が地震によって壊れてしまひ、
約70万人の市民に大きな影響を及ぼしたわけであり、
いまだに復旧がな

その一例として、法定検査の第11条検査というのがありますが、この受検率を見るとはつきりわかるわけであり、すけれども、最新の調査では、岐阜県は95.3%の受検率であります。もちろん全国一の受検率でありますし、適正か不適正

講演



先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

保守点検、清掃、法定検査3業種の情報管理の徹底
先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

下水道にかわる恒久的な処理施設としての浄化槽の信頼性を確保

浄化槽は、下水道法が改正されればその所期の目的が達成されるんだらうかということについても皆さんとぜひ考えていきたいと思いが、
浄化槽は下水道にかわる恒久的な処理施設としての浄化槽の信頼性を確保

御案内のように、岐阜県は、今日お集まりの浄化槽関係者を含めて皆さんの御意見を伺い、
御案内のように、岐阜県は、今日お集まりの浄化槽関係者を含めて皆さんの御意見を伺い、

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

保守点検、清掃、法定検査3業種の情報管理の徹底

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

保守点検、清掃、法定検査3業種の情報管理の徹底

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

問われる保守点検の時間と料金
しかし現実には、法定検査ですら全国平均3割という状況であり、保守点検や清掃などはもっともいかにげんな状態であることが想像されます。設置者に対してシステムが優れているか、過度な料金負担をかけていないか、余分にお金を取っていないか、このあたりについても問われるわけであり、
私も、そのことについて、今日の演題になっております。今年7月26日の参議院の環境委員会に質問させていただきます。例えば保守点検の回数でございます。法律では年3回以上と定められております。この「以上」というのが、非常にこの状況を曖昧にしています。ですから、岐阜県では3回でやっていますけれども、4回やっても、5回やっても

保守点検、清掃、法定検査3業種の情報管理の徹底

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

先ほどお話ししたように、全国から出て来る国会議員と問題をいろいろ話す中で、岐阜県がどれだけのシステムになっているのかということについて、岐阜県の国会議員としてはとても胸の張れる、そういう状況になつておられること、心から感謝をしたいと思います。いろいろあるわけであり、すけれども、(次ページへ続く)

3業種連携事例報告

（前ページより）
 も、その一つ、情報管理が徹底して行われているということであり、保守点検、清掃、法定検査の経時的、一元的な管理が岐阜県全域で実施されています。このことにより、保守点検、清掃、法定検査のそれぞれが重なることなく連携して行われていく。もちろんデータベース化することによって事務の効率化が図られ、現地調査や指導監督、生活排水処理計画の見直しの検討などに有効的に活用され、結果として法定検査率の向上につながっています。

さらに岐阜県では、幅広く一括契約をしていますが、これにより、使用者との信頼関係がしっかり構築されているということであり、むしろ一括契約を継続していくということを用がかるのか、正直言っ

り、行政もパソコン上で閲覧し管理することができるようになっている。3業種連携事例報告では、はじめに、記録票（電

子化・合併処理浄化槽清掃記録票20人槽以下）並びに（電子化・合併処理浄化槽保守点検記録票20人槽以下）の説明が行われたの

に続いて、法定検査、保守点検、清掃3業種により事例報告が行われた。

その結果、浄化槽の状態がよくなったのか、悪かったのか、悪ければ原因は何で、どうい

う対応が必要なのか設置者にも、行政にもわかりにくい状況であった。そこで、3年前前、新保守点検記録票、新清掃記録票に改め、清掃業者から保守点検業者、保守点検業者から清掃業者、そして法定検査からの指摘内容等指示、伝達も、それにもとづいてどのように調整を行っているかが、記録票でわかるようになった。これは、3業種がオンラインで申し送るシステムであ

可能にしているわけであり、今日は岐阜県以外から関係者の皆様が多数お見えと聞いております。ぜひこの岐阜県のシステムを全国的に広めていただきたいと思っております。

3業種がオンラインで連携し、良好な処理水質を確保

良好な処理水質を確保するために重要な浄化槽の維持管理は、従来、保守点検、清掃、法定検査の3業種が維持管理をバラバラの状態で行い、それぞれがそれぞれの仕事の記録をつくって終っていた。

事例1・空気逃がし調整による水質改善事例、事例2・透視度10度未満水質改善事例、事例3・HY型水質改善事例で、事例1では、23年2月より、3業種が連携したオンラインシステムを導入したことにより透視度が改善されたことを法定検査、保守点検、清掃がそれぞれ報告を行った。続いて事例2、事例3も3業種から報告が行われた。

別掲（下）は、報告された3つの事例及び事例1の法定検査状況連絡書、保守点検・清掃記録票。

求められる行政の正しい設置者説明

しかし、この問題は、業者の皆さんの意識改革だけに責任を負わせるといふことには思いません。実際に使っている使用者が、浄化槽に対する意識が本当にわかって使っておられるのかというところにも大きな問題があります。そもそも浄化槽とはどういうものか、継続的に使用するためには何が必要なのか、何をしなければいけないのか、そのためにどれぐらいの費用がかかるのか、正直言っ

てそういったことを本当に知っているだろうかというところから、皆さんに浄化槽は詳しく説明しなくてもいいんじゃないかという思いが、もしあるとすれば、その思いを変えていただいて、きちっとした説明をぜひしていただきたいと思います。これを切にお願

いをお願いいたします。単独浄化槽は、現にトイレの水洗化は実現しており、

転換費用も発生するため、転換のインセンティブが働きにくいという状況になっています。しかし、国庫補助の撤去費、平均約10万円ほどが出るわけであり、そこから、それらの制度も活用しながら、さらなる転換の促進も必要だという思いもぜひ皆さんと共有したいと思います。

そしてさらにもう一つ、汲み取り便所でもあります。これもまだ全国に300万基から400万基ほどあります。実際に使用されている方は約1,000万人ほどいらつしやると言われていますから、この問題についても併せて取り組んでいかなければならないと思っています。

永年、下水道の問題が取り沙汰されてきているわけであり、すけれども、国会において下水道法を改正しようとするに、下水道が来たら、必ず浄化槽を接続しなければならぬという法律を改正することに

下水道法改正と浄化槽システムの確立

この問題が後退することのないように、それぞれの役割を担うことによって、浄化槽システムの確立をしていくことが大事ではないかというところを最後に申し上げ、私も問題にしっかりと汗をかかせていただくとお誓い申し上げて、本日の講演とさせていただきます。

単独浄化槽から合併浄化槽への転換促進が必要

そしてもう一つ、単独浄化槽から合併浄化槽への転換の促進であります。し尿だけを処理して、生活雑排水はそのまま放流する単独浄化槽は、水環境の保全のため、合併浄化槽への転換を進めていくことが極めて重要になっていきます。平成12年に浄化槽法が改正され、単独浄化槽の新設が原則禁止になって以降、次第に単独浄化槽は減少してまいりましたが、平成22年の時点では、単独浄化槽はまだ488万基も残っています。合併浄化槽と合わせた794万基のうち、いまだ62.5%を占めています。

転換費用も発生するため、補助金を出しているわけであり、また、もつとしっかり監督指導していかねばならないのではないか、そのことも是非皆さんにお願いしたいと思っ

ています。そして、ぜひ皆様方にお願いただくとともに、浄化槽も、時代に合った生活排水処理システムを確立することをお願いしたいと思います。いづれにしても、この問題が後退することのないように、それぞれの役割を担うことによって、浄化槽システムの確立をしていくことが大事ではないかというところを最後に申し上げ、私も問題にしっかりと汗をかかせていただくとお誓い申し上げて、本日の講演とさせていただきます。

よって、下水道をどんどん延ばしていこうということを目指して、できるわけであり、また、このチャートに浄化槽のシステムをそれに替わるものとして、つくり上げることだと思っ

ていますので、ぜひ皆様方にそのことを共有していただいて、時代に合った生活排水処理システムを確立することをお願いしたいと思います。いづれにしても、この問題が後退することのないように、それぞれの役割を担うことによって、浄化槽システムの確立をしていくことが大事ではないかというところを最後に申し上げ、私も問題にしっかりと汗をかかせていただくとお誓い申し上げて、本日の講演とさせていただきます。



3業種から連携事例報告が行われた

事例1 空気逃がし調整による水質改善事例 (次頁 ① ~ ④)

- 1) 基本情報
 【処理方式】小型合併 嫌気ろ床接触ばつ気方式 【型式】HS-P
 【人槽】7人槽(5人使用) 【維持管理契約】一括契約
 【作業予定月】清掃:11月 保守点検:1月・5月・9月 法定検査:7月
 【法定検査日】平成23年7月11日

事例2 透視度10度未満 水質改善事例

- 1) 基本情報
 【処理方式】小型合併 性能評価型 BOD除去型 【型式】CSL
 【人槽】14人槽(コンビニエンスストア) 【維持管理契約】一括契約
 【作業予定月】清掃:9月 保守点検:3月・7月・11月 法定検査:5月
 【法定検査日】平成23年5月10日

事例3 HY型 水質改善事例

- 1) 基本情報
 【処理方式】小型合併 性能評価型 BOD除去型 【型式】HY
 【人槽】7人槽(8人使用) 【維持管理契約】一括契約
 【作業予定月】清掃:1月 保守点検:3月・7月・11月 法定検査:9月
 【法定検査日】平成23年9月2日

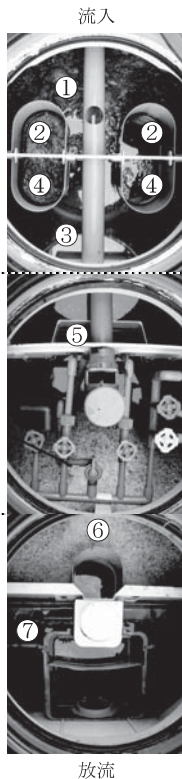
事例1 空気逃がし調整による水質改善事例

1) 基本情報

【処理方式】小型合併 嫌気ろ床接触ばっ気方式 【型式】HS-P
【人槽】7人槽 (5人使用) 【維持管理契約】一括契約
【作業予定月】清掃：11月 保守点検：1月・5月・9月 法定検査：7月
【法定検査日】平成23年7月11日

2) 法定検査時の状況と測定箇所

- ① 1次処理1室 スカム厚2cm
② // 堆積汚泥厚(白濁) 1.3cm
③ 1次処理2室 スカム厚0cm
④ // 堆積汚泥厚(白濁) 1.2cm



⑤ 1次処理 流出水透視度17度

⑥ 2次処理 接触ばっ気槽内透視度17度
逆洗後の接触ばっ気槽内透視度16度
生物膜の付着が少なく槽内水が白濁している
洗剤による発泡が多い

⑦ 放流水透視度19度

2

法定検査状況連絡書

いつもお世話になっております。現場にて下記の状況でしたので、ご連絡申し上げます。

Table with sender information: Tメンテナンス(株) 環境 一郎, 発信者 財団法人 岐阜県環境管理技術センター, TEL: 058-276-0321, FAX: 058-276-0276

Table with recipient information: 浄化槽No. 1234567, 担当検査員 岐阜 次郎, 検査日 H23年7月11日, 設置場所(住所) 〇〇市〇〇町〇〇-〇, 設置場所(氏名) 環境 太郎 様, 設置場所(TEL) ×××-×××-××××, 管理業者 〇〇市〇〇町〇〇-〇, 人槽 7人槽, 処理方式 小型合併 嫌気ろ床接触ばっ気方式, メーカー (株)K, 型式 HS-P

連絡事項
透視度が30度未満(19度)でしたので連絡いたします。
槽内状況は、低負荷で生物膜の生成が少なく、処理水に白濁した微細なSSが含まれていました。
接触ばっ気槽内の透視度は17度で、逆洗を実施したところ16度と変化がありません。
接触ばっ気槽内へ送る空気量を空気逃がしバルブにて調整されていますが、まだ攪拌水流が強い状況でした。
(DO 5.0 mg/l pH 6.4 空気逃がしバルブ全閉から 3/4回転(開) 採水時間14:10)
対策として、さらに接触ばっ気槽内の攪拌水流を弱めるため、空気逃がしバルブを1回転(開)に変更して下さい。
確認の上、調整をお願いします。
調整後の返信報告は、2週間ごとを目途にお願い致します。

ご返信欄
7/13 透視度18度 DO 4.8 mg/l pH 6.4 空気逃がしバルブを1回転(開)に変更しました。
7/27 透視度35度 DO 2.6 mg/l pH 6.8 次回9月、保守点検まで様子を見ます。

3

合併処理浄化槽保守点検記録票(20人槽以下)

Consolidated Wastewater Treatment Tank Maintenance Record Sheet (20 tanks or less). Includes fields for inspection date (H23年9月6日), operator (環境 太郎), and various measurement results for DO, pH, temperature, and sludge thickness.

4

合併処理浄化槽清掃記録票(20人槽以下)

Consolidated Wastewater Treatment Tank Cleaning Record Sheet (20 tanks or less). Includes fields for cleaning date (H23年11月11日), operator (環境 太郎), and detailed cleaning results for various tanks and components.

Table for inspection items and work content, detailing various checks like filter cleaning, sludge removal, and equipment inspection.

Table for cleaning inspection and work content, detailing cleaning procedures, sludge removal amounts, and water quality checks.

Table for reporting items to the supervisor and the inspector, including maintenance actions and improvement points.

Table for reporting items to the supervisor and the inspector, including inspection results and cleaning outcome judgments.

A:正常です B:調整しました C:部品の交換等の改善を行いました D:要観察、次回保守点検まで様子を見ます E:部品交換、修理等の改善が必要です

下水道による財政負担軽減と浄化槽の役割(3業種連携による維持管理システムとその成果)を論点に議論

下水道と浄化槽のベストミックスによつて、良好かつ安定的な処理水質確保の新たな展開を提唱する大会「克服」のパネルディスカッションは、下水道事業によつて膨らむ財政負担の軽減(下水道の見直し)と、浄化槽の役割(3業種連携による維持管理システムとその成果)を論点に行われた。

【牧野】 只今行われた3業種連携による事例報告は、岐阜県下では水質改善に向けて法定検査、保守点検、清掃が連携をして取り組んでいるという報告でございます。これからパネルディスカッションの中で先生方にこの事例報告に触れていただきます。討論を進めてまいりたいと思っております。

資料で示される下水道と地方財政の実態

【田中】 10ページの高速道路・ダム、下水道の建設費からあります。まず高速道路事業です。平成22年度末までの10

年間の建設費は8兆6、000億円、料金不足額は1兆1、000億円。この料金不足額は起債で賄い、債務残高に加えられまして、平成22年度末の債務残高は2兆4、000億円です。

次に、ダム建設事業です。こちらは過去10年間で4兆円が投じられております。そして、下水道事業です。過去10年間の建設費は23兆2、000億円、料金不足額は12兆5、000億円ですが、下水道事業の料金不足額は一般会計から繰り入れられ、起債残高30兆

5、000億円には加えられておりません。起債残高に料金不足額を加えまして43兆1、000億円になります。

次に、11ページの国費の推移及び整備人口でございます。平成13年度から10年間で、下水道に投じられた国費は8兆3、000億円、これに對しまして合併浄化槽は10年間で1、900億円でありまして、これを1人当たりいたしますと、下水道は50万円、浄化槽は7万円となります。

続いて、12ページ、13ページの全国自治体の地方債に占める下水道債を示したものです。まず起債です。下水道債の10年間の起債は、17兆7、000億円、これは一般会計の53%を占めております。

【田中】 10ページの高速道路・ダム、下水道の建設費からあります。まず高速道路事業です。平成22年度末までの10

年間の建設費は8兆6、000億円、料金不足額は1兆1、000億円。この料金不足額は起債で賄い、債務残高に加えられまして、平成22年度末の債務残高は2兆4、000億円です。

次に、ダム建設事業です。こちらは過去10年間で4兆円が投じられております。そして、下水道事業です。過去10年間の建設費は23兆2、000億円、料金不足額は12兆5、000億円ですが、下水道事業の料金不足額は一般会計から繰り入れられ、起債残高30兆

5、000億円には加えられておりません。起債残高に料金不足額を加えまして43兆1、000億円になります。

次に、11ページの国費の推移及び整備人口でございます。平成13年度から10年間で、下水道に投じられた国費は8兆3、000億円、これに對しまして合併浄化槽は10年間で1、900億円でありまして、これを1人当たりいたしますと、下水道は50万円、浄化槽は7万円となります。

続いて、12ページ、13ページの全国自治体の地方債に占める下水道債を示したものです。まず起債です。下水道債の10年間の起債は、17兆7、000億円、これは一般会計の53%を占めております。

▶パネルディスカッション出演者◀

パネリスト	参議院議員 岐阜県大野町長 岐阜県生活学校連絡協議会 会長 全国環整連 会長	小見山 幸治氏 宇佐美 晃三氏 金山 富士子氏 玉川 福和氏
司会	全国環整連浄化槽部会長 同 浄化槽部会	牧野 好晃氏 田中 剛氏

次に、下水道債の元利償還金は10年間で29兆2、000億円、一般会計の50%を占めております。そして、13ページの下水道債の残高は30兆5、000億円、一般会計の57%を占めております。表の右のほうに、赤字で起債不足額とありまして、こちらの10年間の計は12兆5、000億円でありまして、これは、下水道事業の負債であり、本来、下水道債に加えるべきでありまして、全額一般会計から補填されております。

次に、11ページの国費の推移及び整備人口でございます。平成13年度から10年間で、下水道に投じられた国費は8兆3、000億円、これに對しまして合併浄化槽は10年間で1、900億円でありまして、これを1人当たりいたしますと、下水道は50万円、浄化槽は7万円となります。

続いて、12ページ、13ページの全国自治体の地方債に占める下水道債を示したものです。まず起債です。下水道債の10年間の起債は、17兆7、000億円、これは一般会計の53%を占めております。

【田中】 10ページの高速道路・ダム、下水道の建設費からあります。まず高速道路事業です。平成22年度末までの10年間の建設費は8兆6、000億円、料金不足額は1兆1、000億円。この料金不足額は起債で賄い、債務残高に加えられまして、平成22年度末の債務残高は2兆4、000億円です。

(次ページへ続く)



パネルディスカッション

債の金額が高い。中には地方債残高の半分以上が下水道債だということがわかります。特に地方へ行けば行くほどその比率が高いということがわかるわけで、そういったことをいつまで続けているのかということが私にとっては疑問だと思えますので、ここはやっぱり改正すべきだと思います。

【牧野】では地元市町村長であります大野町の宇佐美町長、地元行政の立場から、今の御意見に対して何かコメントをいただけますか。

下水道整備計画を凍結（岐阜県大野町のケース）

【宇佐美】いろいろ今御説明がございまして、31ページに大野町の下水道と合併浄化槽の比較という資料がございまして、正直なところ、この試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

【私野】大野町の宇佐美町長の御意見でありまして、下水道整備計画には非常にお金がかかるというところで、今の段階では、凍結というのであります。31ページの試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

【宇佐美】いろいろ今御説明がございまして、31ページに大野町の下水道と合併浄化槽の比較という資料がございまして、正直なところ、この試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

【私野】大野町の宇佐美町長の御意見でありまして、下水道整備計画には非常にお金がかかるというところで、今の段階では、凍結というのであります。31ページの試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

【宇佐美】いろいろ今御説明がございまして、31ページに大野町の下水道と合併浄化槽の比較という資料がございまして、正直なところ、この試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

【私野】大野町の宇佐美町長の御意見でありまして、下水道整備計画には非常にお金がかかるというところで、今の段階では、凍結というのであります。31ページの試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

【宇佐美】いろいろ今御説明がございまして、31ページに大野町の下水道と合併浄化槽の比較という資料がございまして、正直なところ、この試算は私どもで試算したわけではなく、御理解いただきたく思います。私どもの試算では、ここまでかからないと

国費（補助金、交付金）の推移及び整備人口

年度	下水道		合併浄化槽		合併浄化槽整備済み人口
	国費	整備人口/年 (整備済み人口)	国費	浄化槽整備事業等 整備人口/年 (整備済み人口)	
13	1兆1,486億円	229万人/年 (8,032万人)	180.2億円	40.8万人/年 (410.3万人)	964.6万人
14	1兆0,205億円	213万人/年 (8,245万人)	163.8億円	38.2万人/年 (448.5万人)	993.2万人
15	9,865億円	213万人/年 (8,458万人)	218.8億円	39.7万人/年 (488.2万人)	1,029.7万人
16	8,824億円	178万人/年 (8,636万人)	264.3億円	33.8万人/年 (522.0万人)	1,061.8万人
17	8,556億円	166万人/年 (8,802万人)	273.6億円	30.4万人/年 (552.4万人)	1,092.6万人
18	7,807億円	151万人/年 (8,953万人)	272.4億円	24.1万人/年 (576.5万人)	1,114.2万人
19	7,194億円	158万人/年 (9,111万人)	146.0億円	20.7万人/年 (597.2万人)	1,121.4万人
20	7,553億円	130万人/年 (9,241万人)	141.5億円	16.9万人/年 (614.1万人)	1,127.3万人
21	6,788億円	119万人/年 (9,360万人)	153.4億円	9.6万人/年 (623.7万人)	1,123.6万人
22	5,709億円	※(9,104万人)	123.2億円	※(589.1万人)	※(1,059.1万人)
計	13年-22年 10年計 8兆3,987億円	13年-21年 9年計 1,557万人	13年-22年 10年計 1,937.2億円	13年-21年 9年計 254.2万人	

※平成22年度末の下水道整備人口は、東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県、福島県の3県において、調査不能な市町村があるため、調査対象外とされている。

10年間で、下水道には8兆円もの国費(補助金、交付金)が投入された。
1人あたりの国費の投入金額は、下水道 50万円/人、浄化槽 7万円/人である。
(平成13年度～21年度までの計を基に算出)

【前ページより】
は料金不足に対する対応が非常に違うということをおわかりいただけたかと思えます。また、地方債に占める下水道債、一般会計繰入金ということも資料によって説明しました。

それでは、まず国会議員の小見山先生から、御意見を頂戴したいと思えます。

下水道による地方財政圧迫をいつまで続ける

【小見山】今説明があったとおりでありまして、お示しいただいた20、30ページほどの資料でどれだけ下水道が地方財政を圧迫しているかということがわかります。

資料の22ページから、それぞれの市町村のこの10年間の推移が載っています。が、御案内のように、整備率が高い市町村ほど下水道



小見山幸治氏

は見ていきますが、やはり下水道と浄化槽と比べれば、圧倒的に下水道のほうが大きなお金がかかるということと事実でございます。

それともう一つ、32ページに下水道整備計画を中止という中日新聞の記事がござ



宇佐美晃三氏

私が就任してから、もう少しエリアを絞り込みたいということ、265ヘクタールで9,500人の対象人員、3,000戸という計画に絞り込んだ上で、何とか地元の皆さんの御理解がいただけないかという



金山富士子氏

費用がかかることが、試算上で明らかになっております。また、つくった場合の管理費が20年間で199億かかる。浄化槽であれば83億で済む。この差が116億1,600万円もある。そして使用料不足額は、一



玉川福和

9,000万、浄化槽は57億9,000万。起債の残高が下水道は36億6,000万円で、浄化槽はゼロ。実質の起債残高は下水道が167億1,000万円、浄化槽は9億円というように、2万4,000人、7、

信頼関係に関する自治体会計のわかりにくさ

【玉川】お手元の資料の、17ページの岐阜県市町村地

トいただけるとうれしいんですが、

信託関係に関する自治体会計のわかりにくさ

【玉川】お手元の資料の、17ページの岐阜県市町村地

方債に占める下水道債を見ていただきますと一番下の段の地方債残高1兆5,000億、一般会計は7,800億、企業会計は7,200億とあります。大体同じくらいの水準のように見えるわけですが、しかし、使用料不足額3,000億円を企業会計に乗せると1兆2,000億になるわけです。そして、一般会計から補填してしまから、これを差し引くと一般会計は4,800億、企業会計は1兆2,000億円です。これが本当は実態ということなんです。私は決して一般会計から補填してはだめだと言っているわけではなくて、正しい情報としてこういうことを公開していかないと、非常に自治体の会計処理はわかりにくいと

【牧野】今、玉川会長からもお話がありましたように、非常に膨れ上がる下水道債、こういったところをやはり我々は真摯に受けとめて、将来に向けて考える必要があるんじゃないかと思えます。それにはこの数字をもう一度検証しつつ、今後進める必要があるんじゃないかと思えます。お手元の資料33ページ、これは国の会計検査院が全国の下水処理場の施設の稼働実態を調べたところ、下水90施設に余剰設備があるというものです。当然、補助金が使われております。その250億円が無駄じゃ

(次ページへ続く)

全国自治体 地方債に占める下水道債

企業会計：上水道、簡易水道、工業用水道、交通、電気、ガス、病院、港湾整備、市場、と蓄場、観光施設、

年度	起債計 (新たな借入額)	起債			元利償還金計			
		一般会計	企業会計	内 下水道債	元利償還金計 (返済額)	一般会計	企業会計	内 下水道債
13	15兆7,076億円	11兆8,156億円	3兆8,920億円	2兆0,495億円	17兆7,305億円	12兆8,207億円	4兆9,098億円	2兆3,617億円
14	16兆8,299億円	13兆3,192億円	3兆5,107億円	1兆8,562億円	18兆1,865億円	13兆0,365億円	5兆1,500億円	2兆5,307億円
15	17兆0,096億円	13兆7,894億円	3兆2,202億円	1兆6,668億円	18兆4,482億円	13兆1,549億円	5兆2,933億円	2兆6,721億円
16	15兆6,819億円	12兆3,753億円	3兆3,066億円	1兆5,971億円	18兆9,073億円	13兆0,786億円	5兆8,287億円	2兆8,873億円
17	13兆3,914億円	10兆3,763億円	3兆0,151億円	1兆5,623億円	19兆6,587億円	13兆9,233億円	5兆7,354億円	2兆8,373億円
18	12兆4,765億円	9兆6,223億円	2兆8,542億円	1兆5,412億円	18兆8,640億円	13兆2,511億円	5兆6,129億円	2兆8,176億円
19	13兆5,469億円	9兆5,845億円	3兆9,624億円	2兆2,398億円	20兆1,962億円	12兆9,990億円	7兆1,972億円	3兆6,156億円
20	13兆8,645億円	9兆9,220億円	3兆9,425億円	2兆1,635億円	20兆0,243億円	13兆1,331億円	6兆8,912億円	3兆5,416億円
21	15兆3,976億円	12兆3,960億円	3兆0,016億円	1兆6,724億円	18兆8,477億円	12兆8,532億円	5兆9,945億円	3兆1,019億円
22	15兆6,605億円	12兆9,695億円	2兆6,910億円	1兆3,826億円	18兆6,030億円	12兆9,498億円	5兆6,532億円	2兆8,969億円
10年計	149兆5,664億円	116兆1,701億円	33兆3,963億円	17兆7,314億円	189兆4,664億円	131兆2,002億円	58兆2,662億円	29兆2,627億円

下水道債の10年間の起債 17.7兆円は、
企業会計の53%を占める。

下水道債の10年間の元利償還金 29.2兆円は、
企業会計の50%を占める。

（前ページより）
 ジは浄化槽の問題点について、保守点検、清掃、法定検査、行政の分類でそれぞれ掲げてございます。
 まず保守点検の点検時間、点検回数であります。問題点として、保守点検の技術上の基準は18事項あり、通常では40分ほどの作業時間がかかります。国会答弁で、岡山県は法定点検10分から30分、要綱点検3分から10分と説明。広島県は45分から60分、兵庫県は25分から30分。一部地域で、通常の使用状態において年3回でよいところを、

「以上」を理由に一律4回から12回の保守点検を業者都合で実施しているところがあります。
 次に、送風機停止警報器ですが、送風機が停止すると、3日程度でBODが上昇し、悪化した放流水が垂れ流しの状態で、次の清掃、保守点検、法定検査まで発見されないことがあるということが保守点検の問題点でございます。
 次に、清掃です。問題点として、汚泥を引き抜くための一時的、単発的な清掃作業となっており、浄化槽法施行規則第11条で定められた器具器材を使用し、定期的に管理された作業となっていない。さらに、清掃、保守点検、法定検査間での浄化槽の経時的データや情報を共有していないため、連携した維持管理業務となっていないというのが問題点でございます。
 次に、法定検査の問題点です。まず判定基準、指定採水員制度の問題点です。法定検査の判定は、法定検査ガイドラインに定められています。42ページから添付しております。42ページから、簡単にですが御説明させていただきます。（42ページ57ページの説明省略）

異なる判定があります。採水員制度は、保守点検業者が採水を行っている場合が多く、検査項目が省略されるため11条の法定検査の目的である保守点検、清掃が適正に実施されているか否か確認できない。
 次に、7条検査の時期です。7条検査で浄化槽の工事の状況を確認する規定となっていないため、施工が原因で「不適正」と指摘されても、既に使用開始後相当な期間が経過しているのでは正されないことがあり、不要な費用と期間もかかります。
 次に、設置工事の記録です。浄化槽工事の技術上の基準で、記録の作成について具体的な規定がないため、漏水等の多くは原因者の不明のまま浄化槽管理者の費用負担で改修しています。
 次に、11条検査の時期です。11条検査は、保守点検、清掃が適正に実施、浄化槽機能が正常に維持されているか確認するためでありませんが、実施時期が定められていないため、保守点検や清掃と同月内に行われることがあり、管理者の不信感を招いています。
 最後に行政です。自治体は浄化槽に係る作業報告書及び記録票の提出を義務づけていますが、膨大な数のため、多くの場合は廃棄処分としており、浄化槽の状態を共有できていないのが実態であるという問題点があります。これらの問題点に関する根拠資料等について、42ページから添付しております。42ページから、簡単にですが御説明させていただきます。（42ページ57ページの説明省略）

【牧野】 以上が、浄化槽の問題点、それから今私も全国環整連の業界としての取り組み、さらに、岐阜県では今こういつたシステムでやっているということ、説明をさせていただきます。
 そこで、大野町の宇佐美町長、岐阜県の浄化槽の維持管理の仕組みに対して、御意見、お気づきの点等がございましたら、御指摘でも構いませんので、お願いしたいと思います。
 【宇佐美】 私、ほかの都道府県のこととはよくわかりませんが、岐阜県においては浄化槽の維持管理のシステムをきちんと実施しているつもりで、すばらしいというふうには思っております。
 【牧野】 では、お手元の資料の60ページをお開きください。法定検査員の赤羽根のほうから、もう一度わかりやすく、どういったものなのかということをお説明させていただきます。
 【赤羽根】 まずDOの話させていただきます。DOとは溶存酸素量です。御承知のように、プロア・送風機から空気を送り、何故空気を送るかというと、浄化槽の中では酸素が不足して、浄化槽の中の微生物が、有機物である汚れを食べるのに酸素が必要となるからです。
 しかし、何故、空気を逃がす必要があるという話になりますと、浄化槽の中にある微生物に見合った酸素量、有機物を食べるに当たって必要とする酸素量を保つ事で、微生物が育ち、

（次ページへ続く）

宅地造成、駐車場、公共下水道事業（農業集落排水事業を含む）

下水道使用料不足額

(単位:万円)

地方債残高 計	地方債残高(利息除く)			下水道管理費 〔汚水処理費 その他〕	使用料 不足額	実質 下水道債残高	下水道 整備率
	一般会計	企業会計	内 下水道債				
1兆5,075億4,290	7,844億9,615	7,230億4,675	5,051億6,851	369億5,170	226億5,830	5,278億2,681	55%
				142億9,340			
1兆5,338億6,280	7,803億1,242	7,535億5,038	5,297億6,815	412億2,400	261億6,670	5,785億9,315	59%
				150億5,730			
1兆5,881億6,266	8,138億9,894	7,742億6,372	5,442億2,140	443億5,630	279億2,980	6,209億7,620	62%
				164億2,650			
1兆6,220億9,246	8,307億6,145	7,913億3,101	5,528億5,957	494億1,480	317億8,900	6,614億0,337	65%
				176億2,580			
1兆6,284億3,122	8,325億1,641	7,959億1,481	5,563億7,201	505億4,960	320億8,450	6,970億0,031	68%
				184億6,510			
1兆6,158億2,998	8,224億8,268	7,933億4,730	5,576億5,575	510億8,320	319億1,970	7,302億0,375	70%
				191億6,350			
1兆5,840億5,272	8,051億8,774	7,788億6,498	5,519億5,819	518億3,670	314億9,420	7,560億0,039	72%
				203億4,250			
1兆5,459億9,908	7,857億4,200	7,602億5,708	5,418億2,005	539億8,100	331億6,870	7,790億3,095	73%
				208億1,230			
1兆5,200億4,130	7,790億3,903	7,410億0,227	5,309億2,225	516億3,630	303億2,950	7,984億6,265	74%
				213億0,680			
1兆5,080億4,335	7,802億0,785	7,278億3,550	5,179億3,637	522億5,969	305億2,852	8,160億0,529	76%
				217億3,117			
10年計				4,832億9,329	2,980億6,892		
				1,852億2,437			

差	5億0,045	42億8,830	47億8,875	127億6,786
---	---------	----------	----------	-----------

使用料不足額は全額一般会計から補填

(前ページより) 水処理が進むといったシステムで浄化槽が作られているからです。空気浄化槽の中を攪拌してありますが、回し過ぎて攪拌水流が強すぎると、槽内で固定されている微生物が剥がれてしまい、風呂水など一気に大量の水が入りますと流出しやすくなります。

よって、空気を送る量は、ばつ気槽の中にある微生物の状況を把握すること、また微生物をうまく固定し増殖させることで決まります。しかし、微生物が増殖しすぎても問題が起りますので、保守点検作業時に付すぎた微生物を剥がして、前の槽へ移送する作業も必要です。

【玉川】 わりとわかりやすい。ただ、DO値の正常値って幾つぐらいかだけは前もって書き込んでおいたほうがいいなと思う。

【赤羽根】 今、センターで考えていますDO値ですが、実務者研修会を岐阜県では作業の担当者が毎年行っておりまして。そこで3年ほど前にも発表させていたんですが、大まかな目安ですが、3から4ミリグラム/リットルぐらいということでお伝えはしております。しかし状況に応じて変化はします。

【牧野】 今の空気逃がしの話はあったんですが、例えば循環水量とか移送水量、2槽、3槽と大きく分けております。御承知の通り、1槽目は、一番初めに入水が入ってまいります。2槽目、3槽目は、御説明したとおり、処理される流れております。またぐるぐる回っている。これによって処理水が悪化しているということがわかりました。そういったところから1槽目の底部の汚泥をいかに安定させるか、こういったことに注目をしております。

【赤羽根】 岐阜県では3業種連携を行い、いろいろな調査を行っております。その中で、浄化槽は1槽、2槽、3槽と大きく分けております。御承知の通り、1槽目は、一番初めに入水が入ってまいります。2槽目、3槽目は、御説明したとおり、処理される流れております。またぐるぐる回っている。これによって処理水が悪化しているということがわかりました。そういったところから1槽目の底部の汚泥をいかに安定させるか、こういったことに注目をしております。

【牧野】 今、先ほどの3業種連携による事例発表、これのもう一度わかりやすい説明をさせていただいておきます。

もしよければ会場のほうからも、3業種連携という事例に関して、また記録票の実務等について聞いてみたいということがありましたら、後ほどの質疑応答でお尋ねください。

今岐阜県の事例の話を読みました。そして先程全国的にまだこういう問題を抱えているという小見山先生の御講演がありました。小見山先生に、もう一度先ほどの講演も含めて、コメントいただけたらありがたいと思うんですが。

【小見山】 今岐阜県がどういう取り組みで浄化槽維持管理システムを行っているかというお話を皆さん聞いていただけたと思います。一言で言えば、完璧にできていないんじゃないかと、私はそう思っています。それはやっぱり、先ほど講演でも申し上げましたとおり、決して何かの法律や条例によって縛られたシステムができたわけじゃないです。環境連の皆様の大きな努力と、

それにかかわる行政の皆様との理解と協力によってこのシステムができて上がっているというところだと思えます。テクニカルないろんな問題は、これからどんどん技術革新の中で触れていく話であつたとしても、要するにこの維持管理システムを全国に広げていくということも大事なことなんでしょうけれども、講演の中でも申し上げたとおり、本当に全国へ行くところまできちっとできているところはどこもありません。環境連に所属している業種というかも、全国的にいうと全部が環境連に所属しているわけではないんです。所属していない、別の団体で活動しておられる方も中にはいらっしゃると思います。ですから全部の全国の業者が、環境連に所属すれば講習やいろんな勉強会の中でそういうシステムを広げていくことができていくんですけども、残念ながらそういう状況にはありません。

したがって、やっぱりここはある程度下水道法を改正すると同時に浄化槽法も改正する中で、どこでもそういうシステムでやっていかなければいけないという状況をつくり上げない限り、この問題は解決しないんじゃないかと思えます。併せてもう一つ、これも講演の中で申し上げました。合併浄化槽と単独浄化槽があります。この単独浄化槽を減らさない、要するに生活雑排水は今でも外へ出ていくわけですから、下水道にかわる浄化槽システム、どれだけきちんとこのシステムをつくり上げて

(次ページへ続く)

岐阜県 市町村 地方債に占める下水道債

企業会計：上水道、簡易水道、工業用水道、交通、電気、ガス、病院、港湾整備、市場、と蓄場、観光施設、

年度	起 債				元利償還金			
	起債 計 (新たな借入額)	一般会計	企業会計		元利償還金 計 (返済額)	一般会計	企業会計	
			内 下水道債	内 下水道債			内 下水道債	内 下水道債
13	1,329億0,015	739億6,116	589億3,899	450億3,683	1,393億1,538	937億1,577	455億9,961	274億2,963
14	1,439億6,605	876億7,460	562億9,145	409億0,745	1,394億2,132	913億5,903	480億6,229	304億0,929
15	1,431億4,063	981億0,456	450億3,607	310億0,537	1,446億9,918	935億8,779	511億1,139	327億6,628
16	1,278億4,750	816億1,590	462億3,160	279億7,180	1,512億1,240	950億1,290	561億9,950	366億1,186
17	1,131億5,867	736億8,660	394億7,207	258億3,100	1,465億2,058	890億7,151	574億4,907	371億4,742
18	1,010億3,077	678億4,850	331億8,227	234億5,830	1,499億5,560	919億3,227	580億2,333	375億9,781
19	935億4,972	593億5,835	341億9,137	256億6,970	1,657億2,603	934億5,729	722億6,874	461億4,394
20	1,008億5,706	607億7,366	400億8,340	294億0,500	1,741億0,644	942億6,727	798億3,917	532億6,535
21	1,049億2,884	721億5,884	327億7,000	240億3,880	1,602億0,372	917億7,509	684億2,863	475億4,357
22	1,036億0,340	791億8,631	244億1,709	130億8,409	1,463億7,684	900億4,917	563億2,767	380億5,692
10年計	1兆1,649億8,279	7,543億6,848	4,106億1,431	2,864億0,834	1兆5,175億3,749	9,242億2,809	5,933億0,940	3,869億7,207

下水道債の10年間の起債 2,864億円は、企業会計の70%を占める。

下水道債の10年間の元利償還金 3,870億円は、企業会計の65%を占める。

(前ページより) いったも、その部分がやっぱ最後に残るわけですね。これはやっぱりそれぞれの市町村でどうやって、もちろん新規のものもつくれませんけれども、合併浄化槽に切りかえていくかということをやっつけていかなければいけない。それはそれぞれの行政の中で、

ひかれていた。課題ではないかと思ます。併せて、何度も申し上げますけれども、これだけ地方財政を圧迫しているこの下水道システムをこれ以上続ける必要が果たしてあるのかと。もしあるのであれば、会場の中から、いやこ

ういふ状況で下水道はもっ金とこれからやっつけていかないういふ負担をかけた方がいいのかというのを考えれば、おのずと答えは出てくるわけでありませぬ。そこは浄化槽法が改正されていらないから、下水道法が改正されていらないから、ど

なことを強く申し上げておきたいと思ます。【宇佐美】今、小見山先生のお話の中でこれからは単独浄化槽を合併浄化槽に切りかえていかなければならないというお話がございま

4基、22年度が239基、そして23年度が282基、今年度は現在のところ201基です。合わせて860プラス200ですから、もう1,000基を超える浄化槽に補助金を出して

算定しておりますが、そのうちの9割を、補助金を出しております。7人槽は113万4,000円、8人槽以上10人槽は138万です。その9割、補助金を出して今ほとんど進めているわけでございます。9割と

【金山】3業種の連携のもとに情報を一本化して水環境を100%きれいにしたいと思ます。しかし、さらなる改善策もあると思ます。あるとしたらもう一つ、生活者のために努力していただきたいなあと思ます。

【フロア発言者 小倉】揖斐川町の小倉と申します。揖斐川町でも下水道事業がずつつと進んでおります。それで、私はやはり災害のときとか財政の問題で、ずつつと下水道事業反対、また見直しを求めています。(次ページへ続く)

【金山】3業種の連携のもとに情報を一本化して水環境を100%きれいにしたいと思ます。しかし、さらなる改善策もあると思ます。あるとしたらもう一つ、生活者のために努力していただきたいなあと思ます。それから、合併浄化槽の岐阜県のシステムについて、小見山先生が全国では珍しいモデルということをおっしゃいました。本当に私もお変うれしいと思ます。それともう一つ、私も土岐市に住んでおります。まだ下水道は100%でございませぬ。先ほどの資料でも、下水道はこれから多額の投資が要るわけです。やっぱり地元でもこういう声を生活者の立場で発声して、やはり行政へも訴えていく、こういう責任も私たちが生活者の中にあるのではないかと思っております。ですので、さらなるそういう地域、地域が安全で住みやすい、そして皆が住んでよかったと思えるような地域をつくっていく、そういう活動を進めてまいりたいと思ます。

【宇佐美】今、小見山先生のお話の中でこれからは単独浄化槽を合併浄化槽に切りかえていかなければならないというお話がございま

(前ページより)
 たんですが、残念ながら議会のほうでは1人だけ反対して、ほとんど進んでおります。揖斐川町では個人に対する補助金と町設置型の両方で合併浄化槽をやっています。田舎ですので大きな家が多いんですね。そして、お年寄り1人とか2人で住んでいて、なぜ7人槽を入れなくてはならないのか。もっと小さいのいいじゃないかと言っても、家が大きいから7人槽でしか駄目です、使用量が少ないから正常に合併浄化槽の機能が発揮できないということを言われるんですね。大きな家でも1人、2人で住んでいるところは小さな浄化槽でいいんじゃないかということでお伺いしたいと思います。

過疎の浄化槽設置に行政のきめ細やかな対策が必要

【玉川】 当然のご指摘だと思います。これは制度の不備だと思います。ただ、大きな家を建てると沢山の家族になる可能性があると言っただけでも、そこをどうするか。私は、基本的には料金問題だと思っております。ただ、岐阜県には役所に廃対協がありますから、そこで十分もんでいただいて、私どもに提案をいただくことを、私どもは取り上げたいと思っております。私が下げる下げると言くと、何か役所にこびを売っているんじゃないかという疑いも受けるものであります。今日そういう意見があったんで、例えば10人槽で1人なんだと。独居老人だと。その対策を立ててくれという提案を具体的にしていたければ、私は取り上げようと思っております。議会でも行政のほうからでも結構ですから、上げていただければ私は望むところだと思っております。お断りをいたします。

地震災害に弱い下水道にかわる避難場所への常設浄化槽の設置が必要

【金山】 生活者として、実は私一番知りたいのは、万が一災害が起きたとき、下水道の復旧は大変時間がかかると思います。これは切実な問題ですので、そういうときには合併浄化槽を何とか地域ごとに、設置するにはどれぐらいの時間が必要でしょうか。可能であれば、時間というか、それが設備できて緊するのでしょうか。

【玉川】 この16年間で、3回の大きな地震に日本は見舞われました。いずれも下水道であるがゆえに困った人が随分出ました。一番最初に駆けつけたのが、阪神の震災でありましたけれども、あれは震災後2日目にバキュームカー36台で出発しました。現地へ着くのに、2日間かかりました、あの時に、また起きる地震に備えて避難場所には浄化槽を設置してくれという提言をまとめて出しました。その後、国には何回も出しているんですが、無反応なんです。基本的には下水道は必ず被害が出ます。今から下水道をやるところも、せつかく浄化槽を設置してある避難場所を下水道で接続するんですね。そこは残したほうがいいんですよと言っただけで、小見山先生、これから環境部門会議で具体的なテーマとして出てくるはずなんです。バックゼッセルを得ない、バックは容易にできますよという体制づくりも先生にお願いしたいと思っております。

が、直ちに設置することは不可能です。

【宇佐美】 私どもも、この3月に公共下水道を凍結という判断するために、実は昨年の8月10、11日、ちょうど3月11日から半年後、若手県議のつと沿道沿いを視察に行つてまいりました。陸前高田、それから大船渡、釜石、それから大槌、各市町を駆け足で見てまいりましたけれども、全ての処理場が全滅でした。非常に被害は甚大でありますし、管路の影響も、暗渠の場合は正直言って全部これを見切れないですね。上水であれば、当然すぐにどこかで破裂していればわかるんですが、暗渠の場合は、これを調べるのに本当に時間と費用がかかるのではないかと、私も思っております。

【牧野】 東日本大震災もそうですが、震災というものはいつ襲ってくるかわかりません。ですから、そのための避難場所ですが、その避難場所が一番困るのがトイレです。トイレが下水道であると、汚物が山となくなってくるわけですね。そこへ我々は汲みにいくんです。ですから、ぜひとも今の話じゃないですが、避難場所には浄化槽、要は独立して個別の処理ができるもの、この浄化槽の設置というものをぜひとも早急に考えていただきたいと思っております。どうですか、全体を通して一言、小見山先生のほうから頂戴できるとありがたいんですが。

なぜこれから先も下水道推進なのか問いたい

【小見山】 先ほども申し上げましたので、同じことを繰り返す必要もないと思っております。先ほど揖斐川町の方から御質問がございました。自分以外はみんな下水道推進派だということでした。これだけ勉強しながらも、ほかの方々がそういうことをおっしゃっていることが私にはよくわかりません。ほかの町会議員の先生方に、なぜこれから先も下水道を推進するのか、そこをぜひ聞いてみたいと思っております。非常に無駄なことなんです。これは別に私が民主党だとか自民党だとか、そういうことではありません。地域の財政を考えたいときには、こんなに余分な負担をかけるシステムはもうないんですから。

【金山】 岐卓県は木の国、山の国、そして清流でございます。この3つの特徴を生かしながら、住みよい県、そして地域づくりということで、これから皆さんとともに水環境をもとにしながら活動してまいりたいと思っております。

【金山】 ありがとうございます。金山会長、どうでしょうか。私どもは、浄化槽のシステムそのものに不備があったかもしれません。でも、今の浄化槽維持管理システムであれば、十分な生活排水処理システムができています。何でこの先も下水道がいいんですか。要するに、今最低でも1メートル8万円くらいする下水管をどんどん延ばしていくわけですよ。なぜそんな必要があるのかというのを突き詰めて勉強すればするほど、私はそういうことを強く思っています。

【金山】 次回報告の3業種の連携ということに気がつくのに時間がかかりました。大変申しわけなかつた。今反省しています。私は平成元年から、いろいろ一括契約を開始しました。今90%を超えているんですが、そのときは、ただ契約をすれば目的は達成する

強いということが明らかになりました。下水道は次の地震が起きたときに必ず破壊、破断をし、バキュームカーでまた応援に行くというのを繰り返すという答えは出ており、できる限り、私たちができる範囲で3業種が連携して、こんないい生活排水が出るんですね。下水道部は、いまだに下水道法改正に反対をしておりますけれども、何のために反対しているのか、その正しい方向が、合併浄化槽が選択されるか否かは、いい維持管理をするかどうかにかかっています。

自治体の判断で正しい方向に進んでいくことを期待

【金山】 岐卓県は木の国、山の国、そして清流でございます。この3つの特徴を生かしながら、住みよい県、そして地域づくりということで、これから皆さんとともに水環境をもとにしながら活動してまいりたいと思っております。

【金山】 ありがとうございます。金山会長、どうでしょうか。私どもは、浄化槽のシステムそのものに不備があったかもしれません。でも、今の浄化槽維持管理システムであれば、十分な生活排水処理システムができています。何でこの先も下水道がいいんですか。要するに、今最低でも1メートル8万円くらいする下水管をどんどん延ばしていくわけですよ。なぜそんな必要があるのかというのを突き詰めて勉強すればするほど、私はそういうことを強く思っています。

【金山】 次回報告の3業種の連携ということに気がつくのに時間がかかりました。大変申しわけなかつた。今反省しています。私は平成元年から、いろいろ一括契約を開始しました。今90%を超えているんですが、そのときは、ただ契約をすれば目的は達成する

【宇佐美】 次に、宇佐美町長、何でも構いません。感じたこと、御意見等があればお願いします。お手元の資料の28ページを改めて見ていただきたいと思います。私ども大野町の今の地方債残高、22年度末の額でございますが、一般会計が41億

【玉川】 今回報告の3業種の連携ということに気がつくのに時間がかかりました。大変申しわけなかつた。今反省しています。私は平成元年から、いろいろ一括契約を開始しました。今90%を超えているんですが、そのときは、ただ契約をすれば目的は達成する

【玉川】 今回報告の3業種の連携ということに気がつくのに時間がかかりました。大変申しわけなかつた。今反省しています。私は平成元年から、いろいろ一括契約を開始しました。今90%を超えているんですが、そのときは、ただ契約をすれば目的は達成する

【玉川】 今回報告の3業種の連携ということに気がつくのに時間がかかりました。大変申しわけなかつた。今反省しています。私は平成元年から、いろいろ一括契約を開始しました。今90%を超えているんですが、そのときは、ただ契約をすれば目的は達成する